▲駅舎と駅前広場が明るく彩られています。暖かい格好でぜひ見にお越しください

町 12/2　JR 桑折駅前イルミネーション
の玄関口、3 万灯が彩る

JR 桑折駅前広場で、イルミネーションの点灯式が開かれました。広場のモニュメントや樹木に飾り付けた発光ダイオード（LED）の電球約 3 万個が一斉に灯り、町の玄関口を明るく彩りました。午後 4 時半ごろ、カウントダウンで色鮮やかな光が一面に広がりました。小学生によるハンドベル演奏も花を添え、駅前広場は幻想的な雰囲気に包まれました。このイルミネーションは、追分まちづくり協議会の主催、桑折ライオンズクラブの共催、JR 東日本福島駅の協力で行われています。点灯時間は午後 4 時 30 分から午前 0 時で、期間は 1 月 27 日までです。

安 12/3　小学生標語作品表彰式
全な町への思いを 17 字に託して

交通安全協会伊達崎部会主催による交通安全入選標語の披露式が伊達崎小学校で行われ、宍戸輝夫会長ら出席のもと、全校生の中から選ばれた優秀作品 10 作品の発表と立て看板のお披露目が行われました。6 年生の蓬田稜くんは「道路を横断するとき、歩行者の中で右左を見て渡る人が多いけれど、最後にもう一度右を確認してからわたってほしい」と標語に込めた思いを話しました。

これらの優秀作品は、12 月中旬から立て看板として伊達崎地区内の道路脇に掲げ、町の安全を地域の皆さんに広く呼びかけていきます。

▲事故のない地域をめざして伊達崎地区からがんばろうと意識を高めました

▲（右から）佐藤忠洋監督、藤田くん、髙橋町長、安藤くん、加賀くん

聖 12/7　激励金贈呈式
光学院高校ラグビー部、花園初出場

町出身の 3 人が所属する福島聖光学院高校ラグビー部が、福島県大会で優勝し、初の花園ラグビー場で開催される「第 98 回全国高等学校ラグビーフットボール大会」への出場を決めました。これに伴い、町は、主将を務める藤田優希弥くん（3 年）、加賀愛斗くん（2 年）、安藤隆希くん（1 年）に激励金を贈呈しました。

髙橋町長は「野球に加え、聖光学院に新しい歴史が刻まれた。町出身の 3 選手がいることは町にとっても名誉なこと。まずは 1 勝を勝ち取り、上を目指してほしい」と激励しました。

長 12/18　叙勲報告会
年の功績がたたえられ

元桑折町商工会長の宮本一郎さんが平成 30 年秋の叙勲にて「旭日単光章」を受章され、その報告のため役場を訪れました。宮本さんは、平成 15 年から平成 22 年までの 7 年間にわたって、町商工会長を務め、うち 3 年間は福島県商工会連合会の理事として、地域の進展に貢献してきました。

宮本さんは「奥州羽州街道まつりや流しそうめん、冬花火などを町の皆さんと企画運営していた頃が懐かしい。皆さんのおかげでやってこられたので、感謝したい」と当時を懐かしみながらお話しされました。

▲叙勲受章を報告する宮本さん（写真右）と髙橋町長

▲民生児童委員の案内で訪問し、地域の状況について情報を共有しました

被 11/11　高齢者世帯等への防火・防犯啓蒙戸別訪問
害者、犠牲者をなくすために

半田地区で、町消防団第四分団と民生児童委員、町内会長が協力し、一人暮らしの高齢者世帯へ防火・防犯を呼びかけました。

この活動は、平成 20 年と平成 21 年に半田地区で起きた住宅火災によって高齢者が犠牲になったことを教訓に始まり、毎年、秋の全国火災予防運動に合わせて実施し、地域の巡回も兼ねて活動しています。

今年は 32 人が 9 班に分かれて戸別訪問を実施し、一人暮らしの高齢者世帯を中心に火の用心を呼びかけるとともに、振り込め詐欺など特殊詐欺の被害防止も呼びかけました。

子 11/15　醸芳小学校「防犯ブザー贈呈式」
どもの安全を地域で守る！

桑折地区防犯協会桑折支部（川崎裕之支部長）より醸芳小学校全児童 282 人に防犯ブザー（校章入り）が贈られました。毎年、県内各地で不審者による小中学生への声かけ事案が発生していることへの対策として学校と PTA 役員の間で「防犯ブザーを全児童に持たせたい」ということが話題になり、この趣旨に賛同した同支部より贈呈の運びとなりました。贈呈式には、同支部の菅野義家副支部長、松浦俊充副支部長が出席し「皆さんの身の安全が最も大切です。いざというときには、迷わず鳴らしてください」と児童代表に手渡しました。

▲校章が印刷されたオリジナルの防犯ブザーが贈られました

▲大会長桑折町長・福島北警察署長連名表彰が髙橋町長より授与されました

交 11/17　平成 30 年度桑折町・国見町交通安全町民大会
通事故撲滅で住みよい町づくりをめざす

平成 30 年度桑折町・国見町交通安全町民大会が、桑折町民体育館で行われ、桑折・国見両町の交通安全関係団体など約 200 人が参加しました。第 1 部では、県警察音楽隊による演奏とカラーガードの演技が行われ、会場を盛り上げました。第 2 部では、表彰・表彰伝達や提言発表が行われ、参加者は、交通事故のない安全で住みよい町づくりの実現に向け、決意を新たにしました。

▶町交通安全対策協議会が福島県交通対策協議会長表彰の伝達を受けました

忘 11/21　平成 10 年災害から 20 年
れてはならない教訓を次世代へ

阿武隈川流域に甚大な被害をもたらした平成 10 年災害から 20 年が経ち、教訓を次世代へつなぐための座談会が保原市民センターで開催され、桑折町、国見町、伊達市の関係者が集まって意見を交わしました。

座談会では、佐藤富博消防団長が「川と山、両方の被害で人も資材も不足していた」と当時の体験を、佐藤久仁夫行政連絡員連合会長は「町内会として避難者リストを作成している」など日ごろの備えを発表しました。また、町長からは「治水対策はもとより、川の恵みを利活用し共生を図りたい」と阿武隈川を活用したまちづくりの展望を示しました。

▲町からは（左奥）髙橋町長、（右手前から）佐藤消防団長、佐藤行政連絡員連合会長が参加